

2022年4月13日

SUBARU 北米向けアウトバックの予防安全機能を強化

～広角単眼カメラを初採用し、歩行者や自転車との衝突回避支援を強化～

SUBARUは北米市場向け主力車種アウトバックの一部グレードに、アイサイトの認識能力を強化する広角単眼カメラを新たに採用しました。



広角単眼カメラ

新採用の広角単眼カメラは、アイサイトのステレオカメラに加わるもう一つの眼として機能するもので、ステレオカメラよりもさらに広い範囲を認識できることが特徴です。これにより、歩行者や自転車の認識性能を高めるとともに、認識した情報をアイサイトのシステムと連携して処理することで、低速で交差点に進入する際の横断自転車や歩行者との衝突回避や、万が一、衝突してしまった場合の被害軽減を支援します。

この広角単眼カメラを、米国で生産する北米向けアウトバックの改良に合わせて採用します。北米向けの改良型アウトバックでは、ステレオカメラも2020年に日本で販売を開始したレヴォーグでの初採用以降、搭載車種を順次拡大している新型を採用しました。新型ステレオカメラは、従来型に対して画角を大幅に広角化したことが特徴で、画像認識ソフト、制御ソフトの改良と組み合わせることで、より幅広いシチュエーションで運転支援を実現します。また、アイサイトによるブレーキ作動時の応答性を向上させる電動ブレーキブースターもあわせて採用し、対応力を高めています。

安全機能の他にも、インフォテインメント機能等を改良したアウトバックは、2023年モデルとして2022年秋に米国での販売開始を予定しています。

今回の広角単眼カメラ採用は、SUBARUの目指す「死亡交通事故ゼロ」*1に向けた新たな一歩であり、今後、採用車種や展開市場を拡大していくことを検討しています。今後もSUBARUは安全性の向上に努め、「安心と愉しさ」の提供を通じて一人でも多くの笑顔をつくることに取り組んでいきます。

*1: SUBARU乗車中の死亡事故およびSUBARUとの衝突による歩行者・自転車等の死亡事故をゼロ